



2023年8月3日

会社名 窪田製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長、社長兼最高経営責任者
窪田 良
コード番号 4596 東証グロース
問合せ先 広報・IR部
(TEL : 03-6550-8928 (代表))

遠隔眼科医療用網膜モニタリング機器「PBOS」

シンガポール国立大学病院との共同研究契約の締結のお知らせ

窪田製薬ホールディングス株式会社(本社：東京都港区、以下「当社」)は、当社の100%子会社のクボタビジョン・インク(本社：米国ワシントン州)が開発する遠隔眼科医療用網膜モニタリング機器 PBOS (Patient Based Ophthalmology Suite) において、シンガポール国立大学病院と共同研究契約を締結しましたことをお知らせいたします。

シンガポール国立大学病院はシンガポールを代表する大学病院で、年間100万人以上の患者を診療し、医学の未来を形作る研究に力を注いでいます。本契約は、シンガポール国立大学永祿林医学部眼科学科長のビクター・コー助教授による主導のもと、PBOSの実用性を評価します。

本件について、コー助教授は次のようにコメントしています。

「PBOSプラットフォームのようなホームベースの網膜イメージング技術は、眼科医が通院を最小限に抑えながら、患者の視力回復を最大化できるタイムリーな治療方針の決定を可能にする大きな可能性を秘めています。患者さんのことを考え、御社とのパートナーシップを通じて、NUHで慢性的な目の状態をモニターするための、斬新で簡単に利用できるアイケアモデルを開発できることを願っています。」

“Home-based retinal imaging technology like the PBOS platform holds tremendous potential to enable ophthalmologists to make timely treatment decisions that can maximize visual outcomes for patients while minimizing hospital visits. With our patients in mind, we hope that through this partnership with Kubota Vision Inc, we can develop novel and easily accessible models of eye care to monitor chronic eye conditions at NUH.”

本件について、当社の代表取締役会長、社長兼最高経営責任者の窪田良博士は次のようにコメントしています。

「今回、弊社のPBOSプラットフォームをさらに検証していただくため、シンガポール国立大学病院の専門家にご協力いただけることに大変嬉しく思っております。黄斑変性症や糖尿病性網膜症などの網膜疾患は、世界的に



最も一般的な視力低下の原因と言われています。これからの眼科医療の最前線として、弊社のポータブルで低コストな網膜モニタリングデバイスである PBOS を多くの方に提供できるよう努めてまいります。」

なお、本件による当社の 2023 年 12 月期連結業績予想への影響はありません。

PBOS とは

高齢化が進む中で、今後はインターネットの普及に伴って遠隔医療分野が充実することが見込まれます。重度の網膜疾患においては、高価な薬剤を 1 ヶ月あるいは 2 ヶ月ごとに繰り返し眼内注射で投与することが多く、最適なタイミングでの治療の実現が課題になっています。こうした背景から、当社では、ウェット型加齢黄斑変性や糖尿病黄斑浮腫等の網膜疾患の患者が、在宅あるいは遠隔で網膜の状態を測定するデバイスとして超小型モバイル OCT*¹を開発しています。インターネットを介して、網膜の構造の変化といった病状の経過を、医師が遠隔で診断できるシステムを確立することにより、個々の患者に最適な眼科治療を実現し、眼の健康維持を目指します。

*¹ OCT (Optical Coherence Tomography : 光干渉断層計) とは、眼科において光の干渉性を利用して網膜の断面を撮影する、非侵襲的な医療機器です。

窪田製薬ホールディングス株式会社について

当社は、世界中で眼疾患に悩む皆さまの視力維持と回復に貢献することを目的に、イノベーションをさまざまな医薬品・医療機器の開発及び実用化に繋げる眼科医療ソリューション・カンパニーです。当社 100%子会社のクボタビジョン・インク (米国) が研究開発の拠点となり、革新的な治療薬・医療技術の探索及び開発に取り組んでいます。現在は、ウェアラブル近視デバイス「クボタメガネ」および、在宅・遠隔医療分野 (モバイルヘルス) における医療モニタリングデバイス (PBOS) などの医療機器開発に注力しております。

(ホームページアドレス : <https://www.kubotaholdings.co.jp>)

免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定(一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません)に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。